

スミちゃんの韓国イヤギ②1～

「ソルラル(お正月)の過ごし方」

韓国にもお正月があり、ソルラルといいます。これはチュソク（韓国のお盆）と共に、1年で1番大きな祝日となっています。韓国では中国と同じく旧正月を過ごしているため、韓国のソルラルは1月の下旬か2月の初旬頃になるのが普通で、遅くなる場合は3月になる場合もあります（新年の休みは1月1日の1日だけです）。ソルラル休みはソルラル当日を中心として前後1日ずつで、この3日間の休日は民族の大移動とも言われるほど帰省する人の波でどこ道路也大混雑です。韓国総人口の4分の1が集っているソウルでは、ソルラルになると、みんな自分の故郷や地元に戻るため、いつも賑やかなソウル市内はがらんとした雰囲気になります。皆さん、韓国旅行の時の参考にしてください！

日本では年の暮れには「良いお年を」と、年明けには「明けましておめでとうございます」と挨拶しますね。韓国では「セヘボクマニバドゥセヨ」という挨拶を交わします。これは「新年多福でありますように」の意味で、年末年始・ソルラルどちらもこの挨拶でOKです。

どの海産物を入れて作るこのトッククを食べると、1つ年を取るといわれています。

朝食を家族みんなで取ってから、お墓参りに行き、あとは親戚の所を新年の挨拶に回ります。そして墓参りから帰ってきたら、家族みんなで伝統遊びなどをしながら時間を過ごします。この時、よくやっている韓国伝統遊びとしてはユッノリ、ノルトウィギ、チェギなどがあり、この中で最近もよくやっているのはユッノリです。

ユッノリというのはユッとと呼ばれる長さ10～15センチ、太さ2～3センチのかまぼこ形の木片4つをサイコロとします。投げて、落ちた時の裏表の出方で点数を決め、その点数に従って双六のように盤上のコマを進めるという皆で楽しめる遊びです。最近ではあまりしない遊びですが、昔は、男の子は凧あげやチェギ（羽を蹴る遊び）を、女の子はノルトウィギ（飛び跳ねシーソー）をよくやっていました。

最近ではソルラル休みに、家族連れでレジャーや旅行に出かけたりする人も多くなり、それぞれのライフスタイルに合わせた過ごし方をする人々も増えてきています。考えてみれば、混雑している路上で無駄な時間を過ごすよりは、新年の挨拶を早めにしておいてから、旅行でもして休みの時間をもっとゆっくり過ごしたいという気持ちは私もよく分かります。

最後に、皆さん！「セヘボクマニバドゥセヨ！」

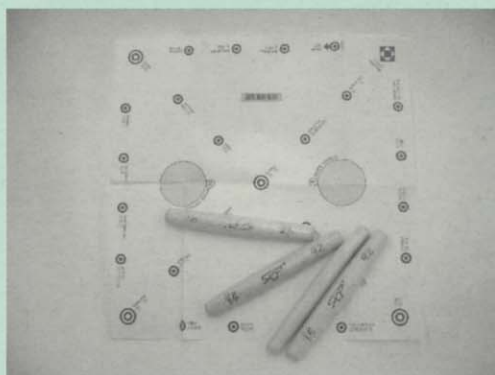
（淀江町国際交流委員 李 秀美）



セヘボクマニ
새해 복 많이

바드ゥ 세요
받으세요 !

ソルラルは朝起きると、まず、きれいな新しい服(ソルビン)に着替え、自分の先祖に茶礼(チャレ)を行います。茶礼というのは祖先の霊を供養するためのもので家族の無事息災と加護を祈ります。茶礼の後には自分より年上の人に歳拝(セベ:お辞儀)をします。そのとき、徳談(例えば、「勉強がよくできるように」とか「結婚できるように」、「子供ができるように」など)を言ってもらい、このときお年玉やプレゼントがもらえます。また、集まった家族みんながトッククという日本のお雑煮みたいなおせち料理を食べます。餅に肉や野菜、または好みによって、生かきな



韓国伝統遊び「ユッノリ」